

三鴨小だより

学校教育目標
やさしい子 かしい子 たくましい子

第25号

発行日 平成31年2月15日
発行者 三鴨小学校長 廣田 昌英

ホントにできる？

2月の第二週の朝の会の時間帯に、教室を巡回してみました。そして2年1組の教室をのぞくと、次週からのノーメディアデーの目標についての話合いの最中でした。吉成先生が「11日は建国記念の日で学校がお休みです。この日にテレビを見ないとか、ゲームをしないって目標を立てちゃうと、ちょっとつらいかもしれませんね。」と話すと、すかさず一人の男の子が「でも、もうすぐ3年生になるからそれくらいはできなくちゃ！」と発言しました。偉い！その意気込みたるや申し分なし！次年度に向けて進級の自覚をもって努力しようとするなんて.....三鴨の子どもたち、順調に育っているようです。うれしいですね。でも、できるかどうかはまた別の話.....かな？

上から目線で

本校の各教室には50インチテレビが常置してあります。ですから、ビデオカメラやタブレットをケーブルでつなぐことにより、様々な画像を全員で見ることができます。視覚に訴える指導は子どもたちの理解をととても深めてくれるので、50インチテレビを活用した授業はたいへん効果的なんです。しかしながら、私にとってそれらはかなりのハイテク機器であり、とても若い教員に向かってアドバイスなどできません。いつも感心させられるばかりです。

そんなある日、2年2組の教室をのぞくと、飛鳥先生が今まさに50インチテレビのスイッチを入れたところでした。いつもハイテク機器を駆使している飛鳥先生、今日はどんな画像を映してくれるのかな？教科書の拡大画像かな？.....ところがテレビ画面は真っ黒なまま、何も映りません。すると一人の男の子が大声で「お願いします！」と叫びました。それにつられて全員が「お願いします！」と画面に向かって叫びだしたのです。どうやら過去にこの「お願いします！」で映像が映りだしたことがあったようですね。それにしてもなんとアナログな小学生.....。やがて飛鳥先生、何かにハッと気付いた様子で、教室内を飛び交う「お願いします！」を制してこう言いました。

「皆さん、すいませんでした。ケーブルをつないでいませんでした。」.....子どもたちは大爆笑。私は心の中で飛鳥先生に一言、「最初にケーブルをつなげておこうよ。」...やっとなアドバイスができました。

おなじみの風景

2月7日（木）は好天の中、3年生が栃木市郷土参考館に向けて校外学習に出かけました。校庭に整列した3年生に私があいさつをさせていただいたあとは、全員で「行って来ます」のあいさつです。と、その前に館野先生が「5年生が反応しないように小さい声であいさつした方がいいのでしょうか？」私は「5年生の反応がないとさびしいから、思い切ってお願ひします。」ということで3年生は元気よく「行って来まーっす！」これを耳にした5年生、座ってなんかいられないんでしょうね。やや遅れて3階の窓を全開にして「行ってらっしゃーい！」

まったく期待を裏切らない5年生ですが、この日はいつにも増して声がそろった見事な「行ってらっしゃい」でした。ありがとう、5年生。3年生もきっと満足して出かけたよ。そして君たちも.....もししたら満足してくれたのかな？

なぞなぞ以外なら.....

2月1日（金）に縄跳び大会の1つ、「持久跳びチャンピオン大会」が行われました。私は残念ながら観戦できなかったのですが、5分間跳び続けた「持久跳びチャンピオン」が18名も誕生したそうです。そして13日（水）の朝はその18名の表彰式でした。全校児童の前で18名が1人ずつ呼名され、体育館前方に整列しました。私とその一人一人にメダルをかけようとした瞬間です。19人目が呼名されました。それは「河内良太君！」でした。大きな声で「はい！」と返事をして整列する河内先生に、子どもたちは大よろこびです。河内先生、職員を代表して大会に出場してくれていたんですね。そして見事に持久跳びチャンピオンに輝いてくれたんですね。見事です！ちなみに、私から一人一人に金メダルをかけていったのですが、河内先生のメダルだけは、大岡先生特製の折り紙で作った金メダルでした。